



## 2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月31日

上場会社名 東京都競馬株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9672 URL <https://www.tokyotokeiba.co.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 多羅尾 光睦  
問合せ先責任者（役職名） 財務部長（氏名） 松本 充弘 (TEL) 03 (5767) 9731  
半期報告書提出予定日 2025年8月14日 配当支払開始予定日 2025年9月1日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	19,298	3.4	7,079	8.4	7,077	8.2	4,825	7.5
2024年12月期中間期	18,662	7.3	6,532	2.6	6,542	2.7	4,487	26.5

(注) 包括利益 2025年12月期中間期 4,871百万円( 2.4%) 2024年12月期中間期 4,757百万円( 30.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2025年12月期中間期	円 銭 180.79	円 銭 —
2024年12月期中間期	円 銭 164.81	円 銭 —

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年12月期中間期	百万円 123,579	百万円 94,069	% 76.0
2024年12月期	百万円 122,405	百万円 91,142	% 74.4

(参考) 自己資本 2025年12月期中間期 93,913百万円 2024年12月期 91,028百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年12月期	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 —	円 銭 73.00	円 銭 113.00
2025年12月期	円 銭 —	円 銭 45.00			
2025年12月期(予想)			円 銭 —	円 銭 65.00	円 銭 110.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2024年12月期期末配当金の内訳 普通配当68円00銭 記念配当5円00銭 (会社創立75周年記念配当)

### 3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,293	2.1	14,132	1.5	14,122	1.5	9,861	1.6	365.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数 (中間期)

2025年12月期中間期	28,764,854株	2024年12月期	28,764,854株
2025年12月期中間期	2,073,066株	2024年12月期	2,074,165株
2025年12月期中間期	26,691,004株	2024年12月期中間期	27,226,574株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当中間連結会計期間の経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間連結貸借対照表 .....	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(会計方針の変更に関する注記) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	10

## 1. 当中間連結会計期間の経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、景気は緩やかな回復が期待されましたが、米国の通商政策や長引く物価高の影響により、依然として経済の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下、全国の地方競馬においては、勝馬投票券売上が前年同期を上回り、当社グループにおきましては、公営競技事業におけるインターネット投票サービスSPAT4(南関東4競馬場在宅投票システム)の売上が増加したほか、各セグメントにおける新施設の稼働も寄与し、業績は堅調に推移いたしました。

以上の結果、当社グループにおける当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は19,298百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益は7,079百万円(同8.4%増)、経常利益は7,077百万円(同8.2%増)、また親会社株主に帰属する中間純利益は4,825百万円(同7.5%増)となりました。

なお、当社グループの遊園地事業は、屋外プール営業期間中(夏季)に年間入場者の大半を集客するため、年間に占める第3四半期連結会計期間の売上高及び売上原価の割合が著しく高くなる傾向にあります。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

#### [公営競技事業]

大井競馬におきましては46日開催されました。この間、JRA交流厩舎の改修を行ったほか、施設の機能強化に努めてまいりました。

SPAT4では、全国の地方競馬を延べ618日、7,136レース発売いたしました。この間、SPAT4公式アプリの新機能として「押し馬機能」をリリースし、既存会員の満足度向上を図るとともに、新規入会者を対象としたキャンペーンを展開いたしました。このほかリアルイベント、Web配信及び各種ポイントキャンペーンの充実に取り組んだこともあり、売上ならびに会員数は順調に増加いたしました。

伊勢崎オートレースにおきましては64日開催され、他場の場外発売は延べ153日実施されました。伊勢崎オートレースの売上は、アフター5ナイター開催を含む本場開催が11日増により前年同期を上回ったものの、併設する地方競馬場外発売所「オフト伊勢崎」及び中央競馬場外発売所「J-PLACE伊勢崎」の売上は、入場者数の減少によりいずれも前年同期を下回りました。

以上の結果、公営競技事業の売上高は14,550百万円(前年同期比3.2%増)、セグメント利益は6,206百万円(同6.9%増)となりました。

#### [遊園地事業]

東京サマーランドにおきましては、夏季期間に先立ち、ゴールデンウィーク限定で屋外プールエリアの一部を先行オープンし、親子で楽しめる各種イベントを開催するなど、集客強化に努めました。また、5月31日からは土日限定で屋外プールエリアの一部開放するとともに、近隣の市町村民を対象とした感謝デーを開催し、さらなる集客の増加を図りました。加えて6月には「スパリゾートハワイアンズ」とのコラボレーション企画を実施し、両施設を楽しめる共通チケットの販売や、交流イベントを展開いたしました。

このほか、わんだフルネイチャーヴィレッジにおきましては、今回で49回目となる「あじさいまつり」を開催し、園内のハイキングコースに広がる約15,000株のあじさいを多くのお客様にお楽しみいただきました。

以上の結果、東京サマーランド及び各施設の入場人員は30万人(前年同期比0.1%減)となり、遊園地事業の売上高は692百万円(前年同期比2.9%増)となりました。なお、休園期間における園内整備費の増加等により、セグメント損失は502百万円(前年同期はセグメント損失463百万円)となりました。

[倉庫賃貸事業]

倉庫賃貸事業におきましては、2024年3月に竣工した「習志野茜浜2号倉庫」が順調に稼働し、勝島第2地区のマルチテナント型倉庫につきましても引き続き高い稼働率を維持いたしました。

また、従前より着手している勝島エリアの一部倉庫における屋上防水工事についても引き続き実施し、施設の長期的な機能維持に努めております。

以上の結果、倉庫賃貸事業の売上高は3,021百万円(前年同期比8.6%増)、セグメント利益は2,007百万円(同11.6%増)となりました。

[サービス事業]

サービス事業におきましては、空調設備事業の設備工事収入が減少したものの、2024年3月に完成した「ウィラ大井2号館」のテナント収入等が業績を下支えし、全体としては堅調に推移いたしました。

また、4月にウィラ大井にて開催した「スプリングフェスタ2025」では、ワークショップやファミリーコンサートなどの各種イベントを実施し、多くのお客様にご来場いただくとともに、地域交流の促進にも寄与いたしました。

以上の結果、サービス事業の売上高は1,116百万円(前年同期比3.4%減)となり、セグメント利益は117百万円(同68.6%増)となりました。

区 分	売上高		セグメント利益又は セグメント損失(△)	
	金額(百万円)	前年同期比	金額(百万円)	前年同期比
公営競技事業	14,550	3.2%	6,206	6.9%
遊園地事業	692	2.9%	△502	—
倉庫賃貸事業	3,021	8.6%	2,007	11.6%
サービス事業	1,116	△3.4%	117	68.6%
セグメント間取引の消去等	△83	—	△749	—
合 計	19,298	3.4%	7,079	8.4%

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における資産合計額は、前連結会計年度末に比べ1,173百万円増加し、123,579百万円となりました。これは、有形固定資産が1,115百万円、無形固定資産が650百万円減少したものの、現金及び預金が3,055百万円増加したことが主な要因であります。

当中間連結会計期間末における負債合計額は、前連結会計年度末に比べ1,753百万円減少し、29,509百万円となりました。これは未払金が1,331百万円、長期借入金が850百万円減少したことが主な要因であります。

当中間連結会計期間末における純資産合計額は、前連結会計年度末に比べ2,927百万円増加し、94,069百万円となりました。これは期末配当金1,948百万円の剰余金処分があった一方、親会社株主に帰属する中間純利益4,825百万円の計上により、利益剰余金が2,877百万円増加したことが主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の74.4%から76.0%となりました。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3,055百万円増加し、18,922百万円となりました。これは、税金等調整前中間純利益7,193百万円、減価償却費3,241百万円に対し、法人税等の支払額2,402百万円、有形固定資産の取得による支出1,661百万円、無形固定資産の取得による支出373百万円、配当金の支払額1,940百万円等による支出が主な要因であります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、9,416百万円の収入(前中間連結会計期間は4,593百万円の収入)となりました。これは、税金等調整前中間純利益7,193百万円、減価償却費3,241百万円に対し、仕入債務の減少258百万円、法人税等の支払額2,402百万円等の支出が主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、3,610百万円の支出(前中間連結会計期間は6,353百万円の支出)となりました。これは、有価証券の純増減額による支出1,600百万円、有形固定資産の取得による支出1,661百万円、無形固定資産の取得による支出373百万円等が主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、2,750百万円の支出(前中間連結会計期間は3,060百万円の支出)となりました。これは、長期借入金の返済による支出850百万円、配当金の支払額1,940百万円等が主な要因であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期通期連結業績予想については、2025年2月14日に公表した内容から変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,040,220	19,095,330
受取手形、営業未収入金及び契約資産	4,864,409	4,339,609
有価証券	1,400,000	3,000,000
棚卸資産	273,114	295,777
立替金	388,381	313,921
その他	923,646	169,519
流動資産合計	23,889,771	27,214,158
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	28,792,822	28,223,030
建物附属設備(純額)	8,644,900	8,286,806
構築物(純額)	9,159,732	9,388,724
機械装置及び運搬具(純額)	1,111,995	969,465
土地	32,554,974	32,465,774
建設仮勘定	182,898	384,353
信託建物(純額)	1,176,016	1,144,939
信託建物附属設備(純額)	118,502	106,725
信託土地	2,174,126	2,174,126
その他(純額)	3,069,627	2,725,886
有形固定資産合計	86,985,596	85,869,833
無形固定資産		
ソフトウェア	6,228,041	5,599,545
ソフトウェア仮勘定	22,330	-
無形固定資産合計	6,250,371	5,599,545
投資その他の資産		
投資有価証券	2,258,269	2,275,596
長期前払費用	27,738	95,062
繰延税金資産	1,908,014	1,877,596
長期立替金	1,001,333	563,763
その他	84,762	84,256
投資その他の資産合計	5,280,119	4,896,275
固定資産合計	98,516,087	96,365,653
資産合計	122,405,859	123,579,812

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	1,170,657	911,769
短期借入金	16,600	66,640
1年内返済予定の長期借入金	1,700,000	1,700,000
未払金	1,695,073	363,278
未払法人税等	2,598,301	2,511,678
未払消費税等	43,477	965,511
賞与引当金	105,869	109,864
ポイント引当金	985,646	1,068,011
災害損失引当金	46,000	-
その他	1,334,875	1,086,429
流動負債合計	9,696,501	8,783,184
固定負債		
社債	10,000,000	10,000,000
長期借入金	7,450,000	6,600,000
受入敷金保証金	2,429,076	2,450,613
退職給付に係る負債	1,245,369	1,237,931
資産除去債務	396,777	399,763
繰延税金負債	33,301	26,915
その他	12,724	11,445
固定負債合計	21,567,249	20,726,669
負債合計	31,263,750	29,509,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,586,297	10,586,297
資本剰余金	6,791,714	6,792,464
利益剰余金	81,527,687	84,404,845
自己株式	△8,503,132	△8,498,971
株主資本合計	90,402,567	93,284,636
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	625,584	629,146
その他の包括利益累計額合計	625,584	629,146
非支配株主持分	113,956	156,175
純資産合計	91,142,108	94,069,958
負債純資産合計	122,405,859	123,579,812

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	18,662,719	19,298,649
売上原価	11,106,601	11,138,495
売上総利益	7,556,117	8,160,153
販売費及び一般管理費	1,023,889	1,080,438
営業利益	6,532,227	7,079,714
営業外収益		
受取利息	1,759	7,698
受取配当金	17,540	19,136
雇用調整助成金等	3,400	400
その他	16,197	8,116
営業外収益合計	38,897	35,351
営業外費用		
支払利息	20,697	37,226
支払手数料	6,413	-
その他	1,029	817
営業外費用合計	28,140	38,044
経常利益	6,542,984	7,077,022
特別利益		
工事負担金等受入額	-	2,500
補助金収入	152,000	64,500
固定資産売却益	-	26,374
受取保険金	-	23,237
特別利益合計	152,000	116,612
税金等調整前中間純利益	6,694,984	7,193,635
法人税、住民税及び事業税	2,058,625	2,315,570
法人税等調整額	130,994	10,267
法人税等合計	2,189,619	2,325,837
中間純利益	4,505,364	4,867,797
非支配株主に帰属する中間純利益	18,115	42,219
親会社株主に帰属する中間純利益	4,487,249	4,825,578

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	4,505,364	4,867,797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	251,979	3,561
その他の包括利益合計	251,979	3,561
中間包括利益	4,757,344	4,871,359
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,739,229	4,829,140
非支配株主に係る中間包括利益	18,115	42,219

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	6,694,984	7,193,635
減価償却費	3,052,576	3,241,338
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,751	3,995
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△63,406	△7,437
ポイント引当金の増減額(△は減少)	989	82,365
受取利息及び受取配当金	△19,299	△26,834
支払利息	20,697	37,226
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△26,374
売上債権の増減額(△は増加)	△2,897,708	524,799
棚卸資産の増減額(△は増加)	△18,260	△22,662
長期立替金の増減額(△は増加)	475,652	437,570
仕入債務の増減額(△は減少)	△564,505	△258,888
未払消費税等の増減額(△は減少)	△527,389	922,034
その他	△431,240	△271,918
小計	5,726,840	11,828,846
利息及び配当金の受取額	19,299	26,834
利息の支払額	△20,124	△36,940
法人税等の支払額	△1,132,581	△2,402,193
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,593,435	9,416,548
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	75,999	△22
有価証券の純増減額(△は増加)	2,000,000	△1,600,000
有形固定資産の取得による支出	△5,901,834	△1,661,847
有形固定資産の売却による収入	-	115,574
無形固定資産の取得による支出	△2,517,511	△373,738
その他	△9,776	△90,779
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,353,123	△3,610,813
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	33,440	50,040
長期借入れによる収入	2,000,000	-
長期借入金の返済による支出	△750,000	△850,000
自己株式の取得による支出	△2,143,729	△4,547
配当金の支払額	△1,636,511	△1,940,644
預け金の増減額(△は増加)	△555,220	-
その他	△8,251	△5,495
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,060,272	△2,750,647
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,819,960	3,055,087
現金及び現金同等物の期首残高	13,760,457	15,867,141
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,940,496	18,922,229

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当中間連結会計期間の期首から適用しております。これによる中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公営競技事業	遊園地事業	倉庫賃貸事業	サービス事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,099,016	664,672	2,783,424	1,115,605	18,662,719	—	18,662,719
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,433	8,897	—	40,168	50,499	△50,499	—
計	14,100,450	673,569	2,783,424	1,155,774	18,713,218	△50,499	18,662,719
セグメント利益又は セグメント損失(△)	5,805,080	△463,739	1,799,330	69,617	7,210,289	△678,061	6,532,227

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△678,061千円には、セグメント間取引消去9,133千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△687,195千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公営競技事業	遊園地事業	倉庫賃貸事業	サービス事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,547,859	682,290	3,021,828	1,046,670	19,298,649	—	19,298,649
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,309	10,516	—	70,189	83,015	△83,015	—
計	14,550,168	692,806	3,021,828	1,116,860	19,381,664	△83,015	19,298,649
セグメント利益又は セグメント損失(△)	6,206,779	△502,917	2,007,615	117,375	7,828,853	△749,138	7,079,714

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△749,138千円には、セグメント間取引消去4,853千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△753,992千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。